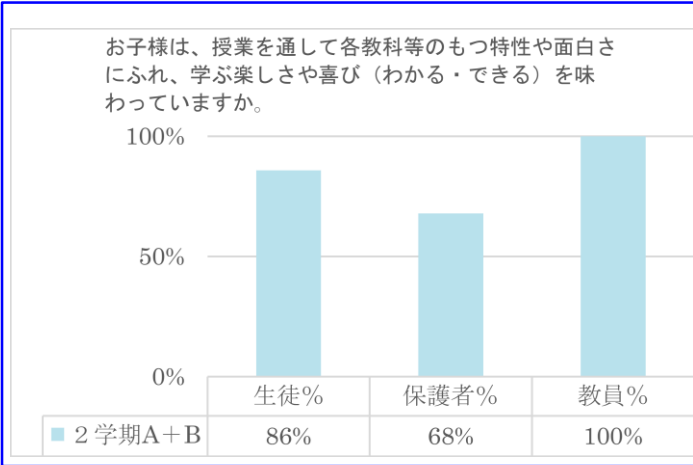


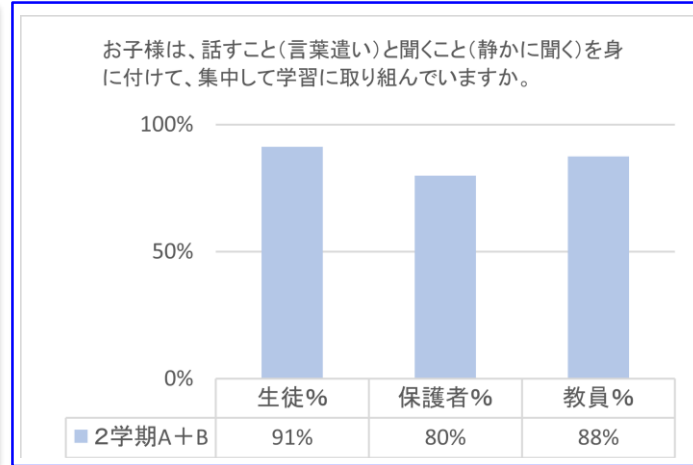
学校評価アンケートへのご回答をありがとうございました。保護者アンケート項目を基準として、生徒、教員のポイントを併記しました。生徒、教員への聞き方は保護者と全く同じではありませんが、同内容です。令和4年度までは7月と12月の2回取っておりました。比較を行い、ポイント上昇のあった項目について統計処理をしたところ、有意な差はないことが分かりました。統計処理をしても、総数とポイント上昇率から差は出てこないことがわかったため、年間1回の学校評価アンケートとし、それぞれのポイントについて比較・検討を行いました。学校評価アンケートは4択です。肯定的回答の上位2つを合計しております。また、学校評価アンケート項目が答えにくいとの声があり、今年度から七小・九小とも協議し全面改稿しております。なお、学校評価アンケート実施は学校教育法第42条、学校教育法施行規則第66条及び第79条から保護者へ公開することと規定があります。学校評価アンケートは法に基づいて行っているものです。

【グラフの見方】

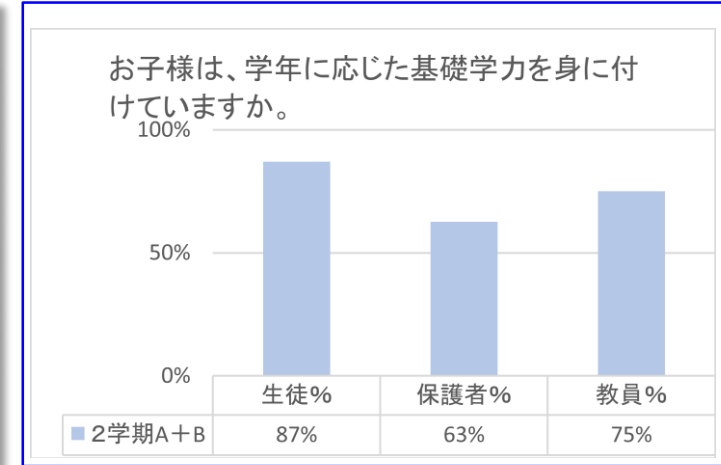
- 単位
百分率(%)
- グラフ上部の数値ラベル
肯定的な回答(AとB)の合計値
A：とてもそう思う。
B：どちらかといえばそう思う。
C：どちらかといえばそう思わない。
D：そう思わない。



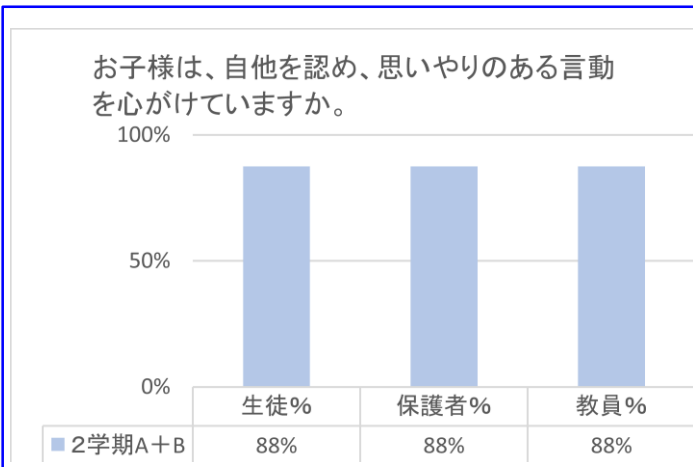
【分析】
学校経営方針として2年目。生徒ポイントは過去最高となりようやく結果が出た。しかしながら、保護者ポイントの差が大きい。学ぶ楽しさや喜びを追求していく。



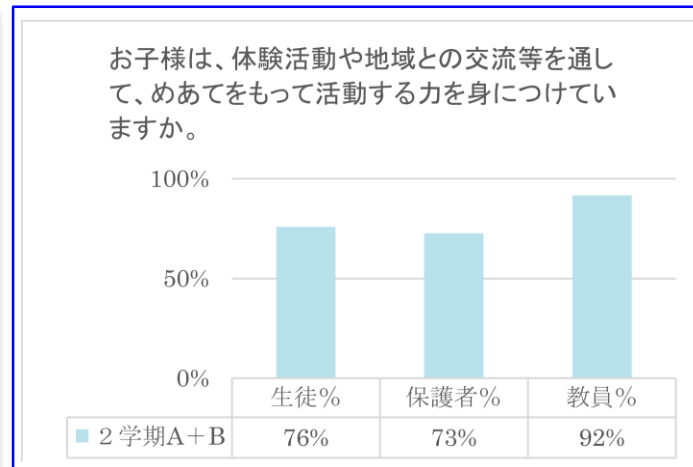
【分析】
生徒に寄り添う生活指導になり1年目。全国学力学習状況調査では本校初となる2年連続全国値となった。生徒のポテンシャルの高さを証明した。



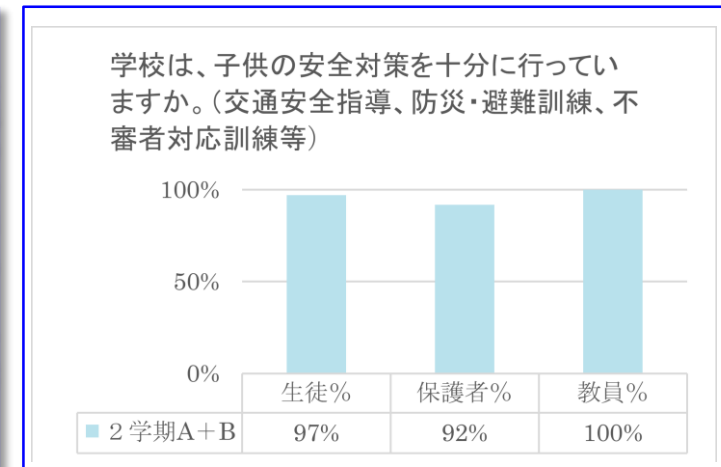
【分析】
評価項目で最も厳しい保護者ポイントとなった。本地域の場合、義務教育9年間で育て上げる視点が必要であると分析している。小学校と連携をしていく。



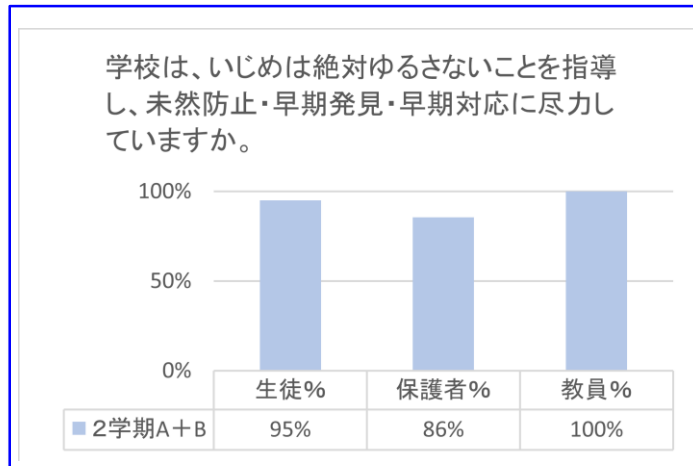
【分析】
総じて高いポイントとなった。コロナ明け元年であり、生徒、保護者、教員ともコロナ明けに戻そうといったエネルギーによるところが大きい。良い傾向となった。



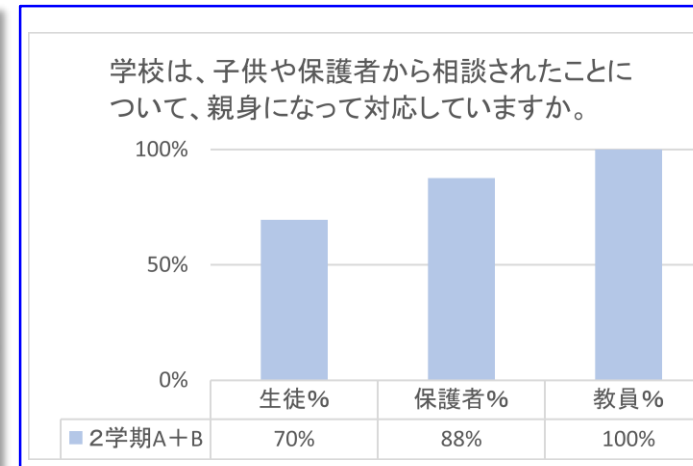
【分析】
大きく捉えればめあての認識は、生き方に関わってくる。ポイントから実感を伴わない活動があることがわかる。コミュニケーションを大切に指導する。



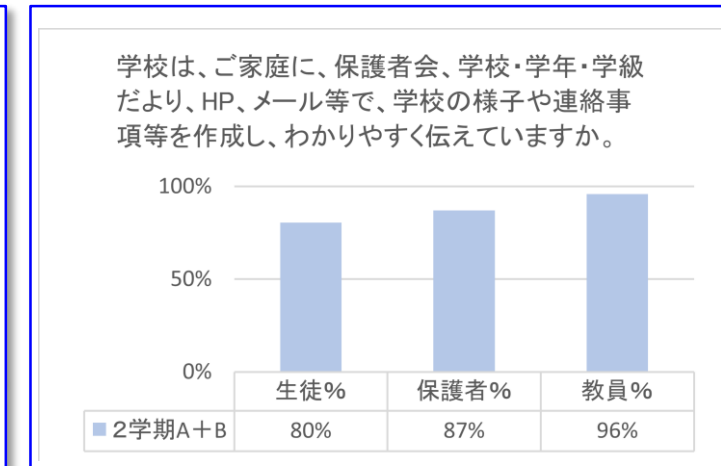
【分析】
高いポイントとなった。防災訓練、引き取り訓練と態度は素晴らしい。どの学校と比較しても遜色ない。ご家庭で自立心を育成していることが分かる結果となった。



【分析】
学校での指導が生徒、保護者へ浸透している結果となった。教員の空き時間での情報交換、保護者へのご連絡等、精度を高め、引き続き注視していく。

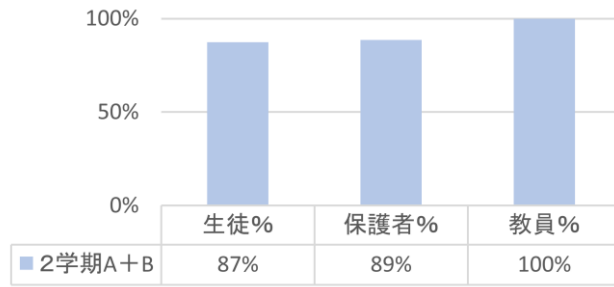


【分析】
昨年度までは生徒40ポイント前半であり、+30ポイントの過去最高ポイントとなった。100%の親身な対応になるよう学校として意識の変革が必要である。



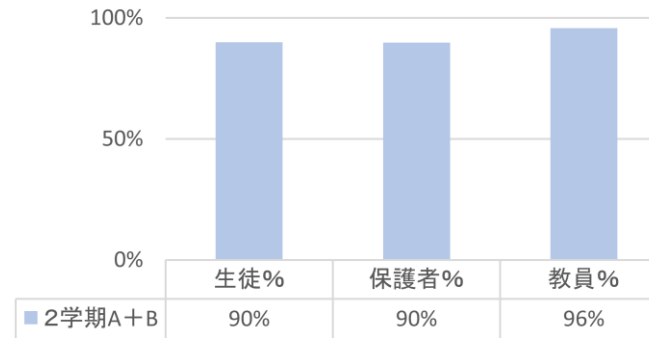
【分析】
生徒、保護者では過去最高ポイントとなった。各種便り、マチコミメールなどの全てが関連をもつように構成し直した。今後もわかりやすく伝えることを念頭に編集していく。

ご家庭では、お子様に気持ちのよいあいさつ、
ていねいな言葉づかいをすることを身につけさ
せていますか。



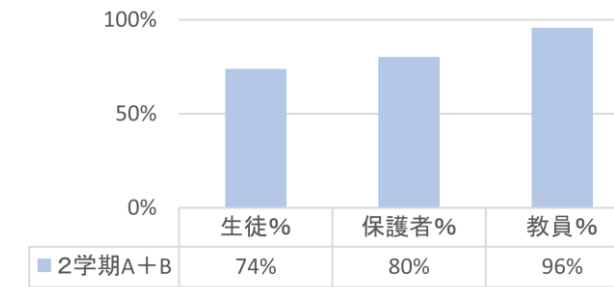
【分析】
五中の伝統で
ある、あいさつ。
来校者から「あい
さつしてくれて、
かわいいです
ね。」と言われる
ことが多い令和
五年度だった。伝
統を引き継ぐ生
徒を育成してい
く。

ご家庭では、お子様に時間を守って行動する
ことを身につけさせていますか。



【分析】
ポイントは高
い。「時を守り、
場を清め、礼を正
す」とは教育学者
森信三先生が提
唱した言葉。そこ
まで、できたの
か、時を守るこ
とも五中の伝統
である。

ご家庭では、お子様が自らすすんで家庭内
の仕事や地域の活動に取り組むように声を
かけていますか。



【分析】
生徒、保護者、
教員と率直なポ
イントとなった。
「自ら進んで」と
いう点において
研究力が問われ
る結果となった。
中学校での勉強
と将来とのつな
がりを研究して
いく。